

Title	吹田市, 箕面市の乳癌集団検診
Author(s)	中野, 陽典
Citation	癌と人. 1975, 3, p. 14-15
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/24211
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

吹田市、箕面市の乳癌集団検診

中 野 陽 典*

吹田市、箕面市の皆様とともにはじめました乳癌検診は、すでに開始以来7年を経過しました。この間延11,000名以上の人々が受検され、この中から癌患者が17名見つかりました。ざっと660名の検診で1名の癌患者が見つかったことになり意外の高率に関係者一同おどろいています。

勿論、乳癌なんて1人も出ないのが、最も理想的ですが、残念ながたえず年間2～3名の乳癌がでてくるのが事実のようであります。

集団検診で発見された乳癌患者の中には自分のお乳のシコリに気がつかなかった人もあります。幾度か検診を受けているうちに乳癌が見つかった人もいます。またシコリに気づき乍らただただ乳癌の宣告を恐れて悶々としていた方もあります。一方集団検診で何の異常もなかった人々の中でも必要以上に乳癌を恐れていた人、何の心配もしていなかった人、現にお乳に異常のある人等いろんな人が受診されました。7年間に十数回も受診した方、毎年1回きっかりと受診される方、最初に受診して後一度もこられない方など全くさまざまです。

しかし検診は一度受診された方にでも、十数回も受けられた方にでも同じように乳癌というものに対する啓蒙を行ったようです。事実一度だけ乳癌検診を受診した後、2回目以後受診せずにおいて、自分でしこりに気づきすぐさま病院をおとずれた人も多数にのぼります。このように受診された方は、それぞれ何らかの形で乳癌を認識されました。当事者以外にも検診を受けた方の親類、あるいは知人が数多く話しをつたえきいて病院を訪ねられました。要するに7年間の検診は多くの関係者の努力によって多くの方々にはかり知れぬ影響を与えました。

また全国的にも乳癌をとりあつかう医療機関

の間ではあまねく知られるようになってまいりました。つい最近も芦屋市の医師会の方々が見学にこられ、この方式を参考にして新しい方式で検診を開始されようとしています。立派な成果を期待したいものです。

7年間の経験は一方では、多くの反省をも必要にしました。17名の乳癌患者の方々の中で残念乍ら3名の方々がなくなりました。この原因には、いろいろなことが考えられますがとりもなおさず検診を受けられた時にはすでに癌が進行しすぎていたということでもあります。どうすればこれを救えるでしょうか。7年間の経験は、乳癌の集団検診は乳癌診断の決定のためにあるのではなく、乳癌診断の第1歩であることを教えてくれました。手にふれないものはみつかりません。また乳房に何かをふれてもこれが病的なものかどうかは専門医でも時には誠にむつかしいものです。触診、レントゲン検査、手術による組織診そしてさらに回を重ねた経過の観察、これらが総合されて一方では乳癌が発見され、また一方では否定されるのです。事実集団検診を受けた方を多数われわれの病院で経過観察しています。その中から乳癌の患者さんもでました。乳房がある以上は乳癌が発生しないとは言えません。乳癌の集団検診を受けられた皆さんは、その受診の日を乳癌診断の第1歩と考えて、検診の機会をのがさず、常に自己の乳房に気をくばることにより、今自分は乳癌ではないのだという自信をもてるのではないのでしょうか。われわれ診察を行う側の者も、この集団検診を乳癌診断の第1歩と考えることにより先にのべたような悲しい結果を次第に減少させうるのでと考えています。

胃癌、子宮癌と並んで乳癌の集団検診もようやく全国的にあちごちらではじめられました。

*大阪大学助手（微生物病研究所附属病院外科）

この波紋が大きく広がりやがて津々浦々まで延びていくことを祈ってやみませんがその波紋の中心の一つが、吹田、箕面であることは間違いないことでありましょう。

明日もまたどこかで乳癌が発生するかも知れ

ません。吹田のそして箕面の検診関係者の皆さん。乳癌が芽を出しかかった時に一刻も早く一致協力してこれを根こそぎ掘出してしまおうではありませんか。

乳癌検診成績 (S43.9～S50.3)

	延人数	実人数	要精検	精検	生検	癌
吹田	8532	5363	439	371	49	8
箕面	1820	936	165	147	25	7
その他	912	912	60	60	2	2
計	11264	7211	664	578	76	17

乳癌集検対象者の乳癌発生率

延人数に対して 0.15%

実人数に対して 0.24%



大阪大学微生物病研究所附属病院 (事務所の所在地)